

30. キッズネイチャープログラム

1. ねらい
小学生前後の子どもたちが「自然と遊ぼう」と思ったときに活用できるアクティビティを紹介しています。
2. 時期・時間
アクティビティの組み合わせにより様々なプログラムデザインが可能です。
3. 準備

| 自然の家で貸し出しできる物 | 利用者で準備する物 |
|--------------------------------|---------------------------------|
| キッズネイチャープログラム (CD-ROM)、パソコン | キッズネイチャープログラム参照 (事前にご相談ください) |

4. 活動内容

- (1) 事前の準備
キッズネイチャープログラムは、子どもが自然と遊ぶためのプログラム集です。
キッズネイチャープログラムのCD-ROMの中には、①『アクティビティ集を楽しむために』②『自分で遊ぶプログラム集』③『仲間と遊ぶプログラム集』があり事前を選択する必要があります。
指導者やご家族の方は、①『アクティビティ集を楽しむために』をよく読み、対象とする子どもたちの学年や活動を実施するフィールドなど、それぞれの状況によりアレンジして実施してください。

- (2) 内容紹介
このアクティビティ集は『自分で遊ぶプログラム集 ～ 一人でもできる自然遊び ～』と『仲間と遊ぶプログラム集 ～ ご家族や仲間と遊ぼう～』の2つから構成されています。

例『自分で遊ぶプログラム集 ～ 一人でもできる自然遊び ～』

ここでは、小学生の子どもたちが一人でも楽しめる「14種のアクティビティ」を3つの段階に分けて紹介しています。

1: 自然で遊ぼう・・・知識の提供よりも遊びの要素が多く含まれているので、子どもたちのやる気呼び起こすことができます。活動の始めに使うと効果的です。

(例) 「ササ笛を吹こう」 「森の宝探し」

2: 自然を感じよう・・・五感を働かせて、自然を直接体験することをねらいとしています。感受性を育み、自然への興味を引きだします。

(例) 「色探し」 「木の鼓動」

3: 自然で作ろう・・・「遊ぼう」の延長として、自然の素材で楽しむクラフトを掲載しています。自然物のもつ色や形などをあらためて知ることができます。

(例) 「樹拓をとろう」「めだまっちを探せ」

*川での活動を実施する際には、『～水辺で遊ぼう～キッズネイチャープログラムvol.2』を活用してください。

《具体例》 ○ 自然を感じよう (例) 「色探し」

| | |
|-----|-------------------------------|
| テーマ | 自然の中から様々な色を見つけます。 |
| 時間 | 30分 |
| 人数 | 2人以上 |
| 季節 | いつでも可 |
| 場所 | 野外 |
| 用具 | 折り紙を1/4に切った大きさの色カード(数色)×グループ数 |



手順

- ①指導者は「自然の色をよく見よう」と、説明します。
- ②グループに分かれ、各グループに数色の用意した色カードを配ります。
- ③その色と同じ色の「自然のもの」を探してきてもらいます。
- ④探し方は、グループ内で相談してください。全員で全部の色を探しても良いし、2人ずつ幾つかの色を受け取っても良いでしょう。
- ⑤集めてきたものからグループで話し合っ、1色につき1つのものを選びます。
- ⑥グループ対抗で色コンテストをして、各色につきどのグループのものが一番似ているか、比べます。



(例) 「木の鼓動」

| | |
|-----|--------------------------------|
| テーマ | 木の音を「聴く」ことで、なぜ音が聞こえるのかを考えてみよう。 |
| 時間 | 20分 |
| 人数 | 何人でも |
| 季節 | いつでも可 |
| 場所 | 木が生えている場所 |
| 用具 | 聴診器<教材用のもの> (貸し出し可) |



- ①音を聞いてみたい木を選びます。
- ②そっと聴診器をあてて、しばらく音を聞いてみます。
- ③今度は他の木の音も聞いてみましょう。針葉樹と広葉樹、葉っぱのある木とない木など、いろいろ聴いてみましょう。
- ④どの木がどんな音がしたか、発表し合います。
- ⑤なぜ木から音がでるのか考えてみましょう。
答えがでなくてもかまいません。



5. 留意点

【活動を指導する際の留意点】

- ・危険回避と自己回避のために、事前の下見で危険をなくしたり子どもに危険のありかを伝えたりするようにしましょう。
- ・服装についても長そで、長ズボン、帽子を忘れずに。肌の露出を防ぐようにしましょう。
- ・フィールドマナーをまもろう。
- ・子どもの気づきを大切にしましょう。
- ・子どもと一緒に楽しくしましょう。
- ・アクティビティーの説明は簡潔にしましょう。
- ・ふりかえりでは、『思い出す→表現する→分かち合う』の順にステップをふみましょう。



* 『キッズネイチャープログラム』・『～水辺で遊ぼう～ キッズネイチャープログラムvol.2』は、子どもゆめ基金教材開発・普及助成活動として、(社)日本環境教育フォーラムが編集発行したものです。

* 社団法人 日本環境教育フォーラム

ホームページアドレス : <http://www.jeef.or.jp/>

